



## パートナーへの応援歌

歯科医師から歯科衛生士へ 28

# 歯科衛生士の可能性は無限大！！

桐野晃教 (歯科医師)

### ●チーム医療で不可欠な歯科衛生士の存在

私が大学を卒業した15年前、歯科業界に「チーム医療」という言葉はあまり聞かれなかったと思いますが、偶然ある本のなかにこの言葉を見つけ、衝撃を受けたことを覚えています。その後、運命的にその著者の歯科医院に勤務することができ、「チーム医療」の現場を目の当たりにしました。そこで働く歯科衛生士さんたちの目の輝き、仕事に対してのプロ意識、やりがいを感じながら仕事を楽しんでいるいきいきとした姿、そして患者さんが笑顔で治療を受けている。この光景は自分の頭のなかに鮮明に残っており、「自分が開業したら、絶対にこのような医療を行っていききたい！」と思ったものでした。

### ●理念の大切さ ～目標の一致～

開業後、チーム医療構築のためいろいろと取り組みましたが、なかなかうまくいきませんでした。それは自分自身がやりたい医療というものスタッフに明確に示せていないことが大きな問題でした。そこで理念を作り、それをス

タッフに伝えることにしました。当院の理念は「私たちにしかかわるすべての方々に、笑顔で過ごせる豊かな人生を提供します」。患者さんだけでなく、スタッフ、社会に対しても何をするかというビジョンをしっかりと伝えました。そうすることにより、スタッフと目指すべき方向性が一致し、お互いに仕事がしやすくなりました。

### ●スタッフに“輝く場”の提供

やりがいをもってチームの一員として仕事をしてもらうには、院長である私は演出家で、主役は彼女たち歯科衛生士（ただし診療に関しては、主役は患者さんで、私たちは脇役だよ、と説明しています）。診療室という舞台上で患者さんといっしょにキラキラ輝いてもらうために、院長はいかにその舞台を設けてあげるかが大切だと思います。そのために、「患者担当制」を導入し患者さんの人生に長く寄り添いかかわっていける体制にしています。信頼関係が構築できると「あなたに会いにくるのが楽しみ！」と言って来てくれる患者さんも少なくありません。

また、院外に“輝く場”を設けるのも院長の仕事です。日ごろの患者さんと積み上げてきた仕事の成果をいろいろな場所で発表したり、ときにチャンスを提供したなら専門誌への執筆もスタッフにしてもらいます。発表会という舞台を用意して、スタッフを女優にする。執筆という機会を与えて、スタッフを女流作家にする。もちろん日々の診療の傍らそれらの準備を

することはとてもたいへんなことですが、舞台上に立っている彼女たちはキラキラ輝いていて、院長としてそれを舞台袖から見守ることを本当にうれしく思います。

### ●歯科衛生士の社会的地位を高める取り組み

残念ながら、歯科衛生士の社会的地位や認知度はまだまだ低いです。いまだに「女の子」とか「看護婦さん」なんて呼ばれることもあります。彼女たちがいくら頑張っても、それを認めてもらえる土壌がなければやりがいにつながりにくいのです。当院ではさらに専門性を高めるために、まずは私が専門医になって学会の認定資格を取得しやすい医院のしくみを作りました。現在は、日本歯周病学会や日本臨床歯周病学会の認定歯科衛生士を目指して頑張っていますが、先々には日本小児歯科学会やその他の認定資格も取りやすいようにしていきたいと考えています。スタッフがいろいろなことに挑戦できる環境を整え、それを地域社会にアピールすることによって「歯科衛生士」という職業の可能性を広げ、また認知度を上げ、社会に貢献できるものと思っています。

### ●歯科衛生士の卵にも

#### 歯科衛生士の仕事の素晴らしさを伝える

もう1つの社会に対する私たちの使命とし



当院のスタッフと理念をもとにした組織作りをお手伝いしてもらっている小原啓子先生（前列左から2番目）、畠山知子先生（前列右から2番目）



日本歯周病学会認定歯科衛生士の山岸貴美恵先生（写真右から2番目）を招いての歯周基本治療セミナー

て、「歯科衛生士学校への支援」があります。臨床の現場で、先輩歯科衛生士が患者さんと楽しく真剣に向き合っている姿を見てもらい、歯科衛生士という仕事の素晴らしさややりがいを感じてもらうため、当院では臨床実習生をできるかぎり受け入れています。また、学校から講演依頼を受けた際には、教科書的な講義ではなく、できるだけ歯科衛生士が現場で実際にどう患者さんにかかわっているかがわかる内容にしました。私だけでなくスタッフにも講演を行ってもらい、直々に仕事の楽しさややりがいについて伝えていきます。

### ●スタッフにも、笑顔で過ごせる豊かな人生を

患者さんが幸せになることは当たり前のことですが、私はそれだけでは満足しません。スタッフにも仕事をとおして、当院の理念でもある「笑顔で過ごせる豊かな人生」を過ごしてもらいたいと願っています。人の病いを治すだけでなく、健康をもサポートし、その方の人生にもかかわれる歯科衛生士という素晴らしい仕事。私はまだまだ無限大の可能性を秘めた職業だと思っています。責任も重くたいへんな面もありますが、その分やりがいは倍になって返ってきます。皆さんも、せっかく選んだ歯科衛生士という人生を楽しんで過ごすために、可能性を信じてより広い視野で周りを見て、いろいろなことにチャレンジしてみてください。きっと素敵な歯科衛生士人生が待っていると思います。



#### ●桐野晃教 / きりのあきのり

1998年 徳島大学歯学部卒業  
同 年 徳島大学歯学部歯科保存学  
第二講座研修医  
2003年 谷口歯科医院（長野市）勤務  
2006年 きりの歯科クリニック開設

医療法人きりの歯科クリニック  
〒776-0020  
徳島県吉野川市  
鴨島町西麻植字広畑88-1